

昭和

議会だより

第

66

号

平成25年1月15日 12月定例会

<群馬県昭和村議会>



2・3 新年のあいさつ

4・5 12月定例会で決めたこと

10～14 村の姿勢を問う

16～18 中学生議会

クリスマス会(第1保育園)

ア とうございます

年頭あいさつ



議長
長

藤井富夫

新年、明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年暮れに行われた衆議院議員総選挙では、自由民主党が圧勝し、安倍政権が誕生しました。新政権には、山積する諸課題を着実に解決する実行力を求めるとともに、混迷する政治・経済が再生されるよう心から願うものです。

また、本村においては、3期12年間にわたる加藤村政から堤村政にバトンタッチが行われました。加藤前村長においては、自主自立の村づくりを進めるとともに、健全財政を堅持し、企業誘致や道の駅の開設、また子育て・少子化対策にも

御尽力をいただきました。そして、現在、堤村長においては、村長自らが標榜するところの「元気で住みよい村づくり」が進められているところです。

議会においては、昨年の12月10日で、改選後2年が経過し、12月定例会で委員会構成が変更されました。また、懸案であった「議会基本条例」を9月定例会で制定しました。今後も、村民の皆様にとつて、より身近で開かれた議会を目指し、議員一同、力を合わせて取り組む所存です。

ところで、第4次昭和村総合計画も策定後8年が経過しているところです。この間、少子高齢化の進行や人口の減少、価値観の多様化など本村を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。更に、一昨年3月に発生した

東日本大震災は、危機管理の重要性など新たな視点による村づくりの必要性を認識させられることになりました。

こうした中、今後も基幹産業である農業の振興や商業の活性化、少子高齢化対策、教育の推進などに一杯取り組むことはもちろんですが、村民ニーズをしっかりと把握したうえで、限りある財源を最大限活用し、最小の経費で最大の効果が発揮されるよう、事業の「選択と集中」をこれまで以上に行っていきたいと考えています。

そして、議員としての役割と責任の重さを自覚するとともに、村議会の改革と改善に取り組み、昭和村を更に魅力ある村にするべく、全力を尽くして参ります。

これからも、村民皆様の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年にあたっての挨拶とさせていただきます。

あけまして おめで

年頭あいさつ



副議長

高橋昇三

新年、明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。村政運営につきましては、常日頃より御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、大きな災害もなく、農業関係者には、まづは豊作の年であったと思います。野菜は、前半は価格低迷で、後半はまづまづの価格に持ち直し、コンニャクにおいてはまづまづの価格で終了したのではないでしょう。

原発事故の風評被害も沈静化に向かっており、東北3県のことを考えれば、まづまづの年であったと思います。

国においては、年末に衆議院選が実施され、自民・

公明両党で325という圧倒的多数を確保しました。新政権には、机上の計画ではなく、現場に即した、地に足を付けた政策を実行してもらいたいと思います。そして、毎年、総理大臣が変わる不安定な政権ではなく、景気、外交、社会保障等諸問題を克服し、国民が安心して生活できる国に導いてもらいたいものです。

村では、新村長のもと、平成25年度予算が組まれます。地方交付税や補助金が頼りの財政であり、耐震対策、施設の老朽化など早急に実施しなければならぬことが多くありますが、村の発展のための予算も必要不可欠です。

村がより良い方向に進むよう、議員全員で頑張りますので、村民皆様の更なる御指導と御協力をお願い申

し上げます。

平成25年が村民皆様にとって、より良き年でありまますよう心より祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



12月定例会は、12月11日から19日までの9日間の会期で開催されました。初日に村長から行政報告を受け、諮問1件、承認1件、議案(人事案件)2件については即日採決しました。ほかの議案9件については、提案理由の説明のみとし、質疑、討論、採決については最終日に行いました。また、発議1件が議員提案され、いずれも原案どおり可決しました。

専決処分

平成24年度一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出それぞれ60万8千円を追加し、総額は38億4317万8千円。歳入は全額、県委託金で、歳出は衆議院議員総選挙費です。(全員賛成)

人事

人権擁護委員の推薦

吉澤千代さん(池原)を再任(全員同意)



固定資産評価審査委員会委員の選任同意

小野一男さん(南内出)を再任(全員賛成)



教育委員会委員の任命同意

吉澤博通さん(池原)を再任(全員賛成)



選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

任期満了に伴い選挙を行った結果、次の方々が当選しました。(全員賛成)



山口義一さん(永井下組)



加藤英利さん(宿)



古澤昇さん(松ノ木平第二)



松井文雄さん(三ツ谷)

選挙管理委員補充員

林雄一さん(生越)

根岸満雄さん(池原)

真下直治さん(鎌沢)

星野良一さん(追分)

農業委員会委員の推薦

次の4人を議会推薦することになりました。(全員賛成)



中里信幸さん(松ノ木平第一)



真下喜美子さん(森下上組)



角田ゆり子さん(南内出)



竹吉信子さん(赤谷)

条例の一部改正

職員の給与に関する条例の

一部改正及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

職員の勤務1時間当たりの給与額の算出方法については国家公務員法に準拠してきましたが、労働基準法に基づき算出するための改正です。また、平成17年度の給与構造改革により、給与額の急激な減少者に対する経過措置が廃止されることから、経過措置期間の期限を県と同じく平成26年3月31日までとなります。(全員賛成)

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

平成25年4月1日から、燃やせるごみ指定袋の販売価格が次のとおり引き下げられます。

- 大(30枚) 1200円↓600円
 - 中(30枚) 900円↓450円
 - 小(30枚) 600円↓300円
- (全員賛成)

12月定例会

燃やせるごみ指定袋を半額に

条例の制定

私債権管理条例の制定

公債権とは地方税や保育料、国民健康保険料などで、私債権とは本村独自の事業である水道料や給食費、学童保育料などです。公債権については、債権の徴収執行の根拠として公の法律があります。私債権については存在しないため、細かい管理を行うため制定しました。
(全員賛成)

税外諸収入に対する督促及び延滞金に関する条例の制定

税外諸収入とは、分担金や使用料、加入金、手数料及び過料などで、これらを納期限までに完納しない場合の督促や延滞金の規定について制定しました。
(全員賛成)

補正予算

平成24年度一般会計補正予算(第6号)

歳入・歳出それぞれ250万8千円を追加し、総額は38億6826万6千円。

主な歳入は、障害者自立支援負担金を440万円増額、財政調整基金からの繰入金金を2097万6千円増額するものです。

主な歳出は、障害者自立訓練等給付金を775万円増額、大規模野菜経営体育成事業補助金を1300万4千円増額、ぐんまの野菜担い手育成支援補助金を1578万1千円減額するものです。
(全員賛成)

平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ407万8千円を追加し、総額は10億9331万7千円。主な歳出は、一般被保険者療養給付費と一般被保険者高額療養費の増額です。
(全員賛成)

平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ514万8千円を追加し、総額は1億2772万2千円。主な歳出は、水道施設の電気料や修繕料などです。
(全員賛成)

平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ251万7千円を追加し、総額は3億3151万7千円。主な歳出は、処理施設の電気料や修繕料などです。
(全員賛成)

全員協議会

10月26日

①メガソーラー発電所誘致計画については、事業者と県で林地開発等の事前協議を進めており、配置計画図をもとに説明がありました。

②農作物収穫残さ等の焼却処分計画について、対象農作物と焼却期間は、こんにゃく(11月20日～12月2日)、アスパラガス(12月5～18日)、ウド(1月20～26日・3月24～30日)、雨よけトマト(3月6～19日)の茎葉で、実施時間は午前10時～午後3時までです。

③社会体育館の耐震診断

平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ70万3千円追加し、総額は6億7205万6千円。主な歳出は、介護認定ソフト導入に伴うプログラム改修費などです。
(全員賛成)

結果について、耐震性能ランクはBで比較的高いが、天井や外壁等の補強や改修が必要であると説明がありました。

11月30日

①メガソーラー事業に対する村有地の貸し付けについて、事業者より、開発面積(借地面積)が4万9933㎡で、土地の賃貸料として「年350万円+20年間固定」との提案があり、了承しました。

②議場での一般質問について、一括質問・一括答弁方式を改め、12月定例会から一問一答方式を採用入れることになりました。

議会の委員会構成が 変わりました

議員改選後2年が経過し、任期満了に伴い委員会構成が次のとおり変わりました。

議会運営委員会

◎倉澤 俊雄
○星野 吉一
横坂 先夫
中里 信幸
加藤 生
※高橋 昇三

総務民生常任委員会

◎横坂 先夫
○加藤 生
倉澤 俊雄
角田 茂
兵藤 喜孝
藤井 富夫

文教産建常任委員会

◎中里 信幸
○加藤 美昭
林 幸司
星野 吉一
山田 博昌
高橋 昇三

議会広報編集特別委員会

◎加藤 美昭
◎兵藤 喜孝
倉澤 俊雄
角田 茂
加藤 生
星野 吉一
山田 博昌
高橋 昇三
藤井 富夫

地域開発対策特別委員会

◎林 幸司
○角田 茂
議員全員

村づくり対策特別委員会

◎兵藤 喜孝
○星野 吉一
議員全員
◎…委員長、○…副委員長
※委員外議員

議会選出の消防委員

横坂 先夫
加藤 生

議会運営委員会

委員長 倉澤 俊雄

この度の議会構成の改選により議会運営委員長の重責を担うことになりました。先がけて本村議会の指針となる昭和村議会基本条例が9月14日に制定されました。議会は村民の代表機関として自らの襟を正し、村民の広範な意見を把握し、村の政策に反映させることであります。よって村民の福祉の向上、村の発展のため、円滑な議会運営を

期するため議会運営のすべてに對し、協議し意見調整を図る場として一生懸命務めてまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

副委員長 星野 吉一

委員会構成の改選により、議会運営委員、文教産建常任委員として後半の2年間で活動することになりました。9月定例会にて議会基本条例が決

まり、村民参加を推進する議会を目指し活動していきたいと思ひます。

11月には、中学生議会が開かれ、昭和村の将来について、道の駅への集客、人口増、産業など幅広い若々しい意見が出されました。このような多くの村民の声を聞き、明るく活力のある村づくりに取り組んでいきたいと思ひます。皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

総務民生常任委員会

委員長 横坂 先夫

常任委員会の交代により、委員長の重責を担うことになりました。元気で明るく住みよい昭和村になるよう、委員全員で努力してまいりたいと思ひます。

しっかりと協議、創意工夫し、村民各位の期待に少しでも多く応えられるよう、一生懸命務めてまいりますので皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願いいたします。

副委員長 加藤 生

12月16日に行われた衆議院選挙により、自民党の圧勝による政権交替など、これから国として、どういった国づくりを目指すのか、中央政府の決定に目が離せません。村では25年度予算を作るにあたって3年間の継続性のある計画を、そして真に村民の皆様方が望むものは何か、それらの声を聞かせていただき、行政に反映できる様務めてい

委員 角田 茂

常任委員会の交代により、残りの二年間は総務民生常任委員としてお世話になります。限られた予算のなか、いかに昭和村のため、地域のためになるか。努力をしてまいりますので、皆様のご指導ご協力をお願いいたします。



議会議員、村長、教育長、総務課長、議会事務局職員

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 美昭

12月11日の本会議で委員長に就任いたしました。浅学非才の身であります。今日まで諸先輩が築いたスタイルを尊重しつつ斬新な紙面づくりに務めてまいりたいと思います。

議会広報は私が申し上げるまでもなく、住民と議会を結ぶパイプとして

重要な役割をもっており、全委員が力を合わせ住民に読まれ、親しまれる広報紙づくりに一層努力してまいる所存であります。よりよい議会広報づくりに、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副委員長 兵藤 喜孝

議会だよりを通じて、

村民の方々に議会及び議員の活動に対する理解と信頼を深めるように、わかりやすい情報提供に努めていきたいと考えます。「伝える」議会だよりではなく、「伝わる」議会だよりを目指して、委員一丸となり、努力してまいりますので、皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

文教産建常任委員会

委員長 中里 信幸

この度の、委員会の配置替えに伴い、文教産建常任委員会委員長に就任しました。委員会の名のとおり村の財産となる人づくり、農工商のバランスのとれた産業の発展、そして村の基盤部分の整備、拡充と大変所管が広くその責任も重く受け止めています。しっかりと村づくりのために頑張るつもりです。皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

委員 林 幸司

築32年の大河原小学校と社会体育館の大規模改修事業を促進していきたい。

千年の森にメガソーラーの建設が決まりましたが、脱原発へ、公共施設や各家庭への太陽光発電の設置を促進していきたい。デコボコ村道の改修を促進するとともに、村ぐるみでTPP参加を阻止する運動を強めていきたい。

ゴミ袋値下げに続いて、保育料無料化など堤村長の公約実現に全面協力

し、住み良い村づくりを推進していきたいと思えます。

委員 山田 博昌

私も議員職につきまして、半年月日が過ぎ去りました。優秀な先輩議員の指導、そして役場職員のお言葉を頂いて務めております。これからも皆様のご意見を聞きながら、一生懸命勉強して頑張つてまいります。浅学非才な私ではありますが、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

上内出地内地上式消火栓を採択

12月12日に総務民生常任委員会を開催し、付託された請願等や通学路の安全対策に関する要望について現地調査をし、その後、審査を行いました。

上内出地内消火栓敷設替えの請願では、現在、地下式の消火栓が設置されていますが、付近には防火水槽が設置されており、第一保育園もあるので、今の消火栓は残したまま新たに地上

式を増設すべきとのことから、全会一致で採択としました。

安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情では、医療・福祉現場は厳しい労働環境にあり、労働者不足を招いているとのことです。しかし、本陳情からは医療・福祉現場の実態を把握することは難しく、医師・看護師、介護職員等を大幅

に増員するための財源も示されていないが生命を預かる職場での労働環境を考慮し、全会一致で趣旨採択としました。

介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情では、介護ニーズが増大する中で、介護人材の安定的な確保は重要です。しかし、

介護職員の賃

金水準は、他の

業種に比べ

低い傾向にあ

り、高い離職

率の一因にな

っていること

です。

こうしたこと

から、「介護

職員処遇改善

交付金」が創

設されました

が、今後の社

会経済情勢等

を見極める必

要があること

から、全会一

致で趣旨採択

としました。

村PTA連絡協議会からの要望書のうち、東小学校北側の通学路に「通学路につき徐行」などの看板の設置要望については、要望どおり、必要に応じて設置するよう当局に要請しました。

た。

常木地区から糸井中宿地区へ通じる通学路の見通しの悪いカーブにおける「カーブミラー」の設置要望

については、現地調査を踏まえ、必要と思われる2カ所に設置するよう当局に要請しました。

県道沼田赤城線の東小学校前からコメリ付近交差点までグリーンベルトの設置要望については、要望どおりとし、更に「通学路注意」の路面表示を検討するよう当局に要請しました。



上内出地内の消火栓を調査



横断歩道が設置された糸井中宿地区の県道

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

村道2路線の改良工事など採択

12月13日に文教産建常任委員会を開催し、付託された請願等及び要望について現地調査を行い、その後、審査をしました。

村道川額伏田線道路改良工事の請願では、小・中学生や高校生の通学路として、また、地域住民の生活道路として利用されているが、路面が傷んでいるため、安全な通行ができるよう改良工事を行うべきとのことから、全会一致で採択としました。

村道宿1号線道路改良舗装工事の請願では、集落内

の生活道路として利用されていますが、道路幅が狭く凸凹が多いため、改良工事の必要性があることから、全会一致で採択としました。

村道中野5号線の水利兼道路としての工事の陳情では、豪雨時には上中野からの雨水等により、大量の土砂が堆積します。流末では治山治水事業の予定があり、改良工事が必要であることから、全会一致で採択としました。

貝野瀬地内の道路排水の流末処理の陳情では、豪雨時に雨水が集まり、下の民



生活道路として利用されている村道伏田2号線

家まで押し寄せます。しかし、山林内であり、U字溝では詰まったり洗掘^{せんくつ}されたりするおそれがあるため、専門的調査により最良の方法を検討する必要があることから、賛成多数で趣旨採択としました。

次に、村PTA連絡協議会から提出された通学路安全対策に関する要望書の審査をしました。

主要地方道昭和インター線の居酒屋「くろほ」付近の歩道拡張または注意喚起の表示等の要望では、当局で当該県道と南小学校に抜け

る村道との交差点に信号機を設置し、通学路を誘導しようとして関係機関に働きかけており、一日も早い実現を要請しました。

県道下久屋洪川線の中学校前道路の役場方面への途切れている歩道の早期完成の要望では、これまで県で事業を推進してきましたが、一部地権者の理解が得られず、事業終了となりました。しかし、生徒の安全対策のため、県で早急に対応していただくよう当局に要請しました。



川額藤井地内の県道を調査

一般質問

三ヶ年間の 予算実施計画策定は？



加藤 生 議員

問

堤村長になって初の予算編成となるが、今後三年間を見据えた中で、25年度の各課での主要事業は。そして全体の中での大きな核となる事業は。またそれら事業が単年度で終わるのか26年から27年の複数年度に継続しなければいけないのか。三ヶ年間の実施計画を策定するお考えはあるのか。

答 村 長

村長就任後、初めての予算編成に向けて、第4次総合計画策定後8ヶ年が経過しました。検証し住民の望む諸施策立案、計画的な実行を図り、優先度、緊急度を勘案し予算計上する事を指示し、計画、実行、評価を検討している段階であります。

問

計画、実行、評価ということとで計画を立てた中で実施し、最終的には評価をし、この事業がよかったとか悪かったとかという点ま

答 村 長

で、検証していかなければならない。お金はかかるので知恵を絞って、村づくりの諸施策を計画して、実行していただきたい。例えば大河小学校の大規模改修を25年度単年度で行うのか複数年度で行うのか、計画が必要だと思うが。

問

大河原小については、調査、準備をし、25年度予算に組み込めるのか、単年度でできるのか、複数年度になるか調査をし、回答していきたいと思っています。

答 村 長

三ヶ年計画を策定する考えがあるのか、もう一度村長の考えをお聞かせ願いたい。私が目指す村づくりに生かせるような計画は、随所に盛り込んでいきたいと思っています。



大規模改修が計画されている大河原小学校



インフラ整備が待たれる道路

姿勢問

学校給食センターの 冷蔵庫の必要性について



角田 茂 議員

問

学校給食センターに、なぜあんな大きな冷蔵庫が必要なのか、その必要性について教えていただきたい。旧給食センター時代には、1500人もの児童・生徒がいたが、業務用の小さいので間に合っていた。資材は毎日業者が運び込み、その日のうちに使用するので、残り物はないはずである。教育委員会は、冷蔵庫の中を検品しているのか、昭和村の取れたて新鮮野菜はどうなっているかお答え願いたい。

答 教育長

冷蔵庫、冷凍庫については、学校給食衛生の手引などに基づき設置されています。冷凍庫は、食料ロスの少ない冷凍食品、特に魚、肉類、コーンなど生食のままでは使用することが難しい食材に利用する場合がありま

す。通常は、マイナス18度C以下で急速冷凍された食品・食材を調理作業までに保管するために、必要な施設です。また、卵も専門工場で衛生的に割卵されたものを安全に使うため、必要となります。生野菜等も白菜の例で、コンテナ12^キで契約していますが、18^キの野菜が納入されることもあり、使用しきれない場合もあります。

問

余った野菜をなぜ返品しないのか。

今までは、その日のうちに全部返品されたが、どうしてか。また、冷凍庫を75万円かけて修理したと聞いたが、なぜか。以前、私が見たところ、天井裏に熱がこもり、機械が働かなくなるので、壁に換気扇を付ければ改善されるといのに、75万円を平然と掛けられるのは税金だからではないのか。なぜ、何軒かの業者から見積もりを取らない

答 教育局長

のか。余った野菜を冷蔵庫に保管し使用するので、昭和村の取れたて新鮮野菜とは言えないが、どうお考えか。

現在の冷蔵庫については、天井裏に熱が出るような仕様になっているため、暖まった空気を外に出す工事をしました。野菜の納品については、コンテナ契約ですので、注文の量より多く納入されることがあり、廃棄することもできないので、保冷しています。



楽しい給食の時間

一般質問

本村の空き家対策について



倉澤 俊雄 議員

問

総務省が2008年に行った空き家調査によると、総住宅数5759万戸に対し空き家は757万戸で空き家率13・1%である。空き家のなかで最も多いのは賃貸用住宅だが長期不在、取り壊し予定の住宅も268万戸と35%を占めている。空き家が増加しており、古くなって倒壊による事故や犯罪の温床になりかねないとして、適切な管理を所有者に義務づける空き家条例を制定する自治体が相次いでいる。

答 村 長

本村では平成19年3月より空き家、土地情報事業を行っており22年には昭和村空き家・土地情報取扱要綱を定めております。

「空き家条例」につきましては、村内の倒壊や犯罪の温床となる危険性のある空き家について今後、調査等を行い検討していきたいと考えます。

問

本村の現在の状況と今後の取り組みについて。

答 村 長

区長会議において空き家登録制度の説明及び回覧等をお願いしております。今後、空き家を地域資源とし移住、定住化や古民家などとして活用し、さらには地域の防犯、防災や定住化促進のため、空き家の紹介は継続していく所存であります。



あちこちに見られる空き家を地域資源に活かす



林 幸司 議員

姿勢問

基金を活用し村事業として メガソーラー建設を

問

危険性・廃炉費用・使用済核燃料処理を考えれば、原発こそ最も高コストであり、原発ゼロへ、省エネと再生可能エネルギーへの移行が必要。

全国トップの日照時間と土地確保が容易なことから、県内でも200メガもの計画がある。

33億円の基金の一部を活用し、メガソーラーを建設すれば、20年間の固定価格買取制度により、村長公約の保育料無料化等の安定財源が確保できる。村事業として建設すべきではないか。公共的な施設にも順次、設置するよう求める。

答 村 長

多額の費用や20年という売電契約を踏まえ、経済の動向なども視野にこれ検討・協議していきたいと思います。

公共施設については、経費を含め各施設の状況を確認し、検討していきます。

ペナルティーやめさせ 高卒まで無料化を

問

中卒までの医療費無料化や、母子・父子家庭、重度高齢・心身障害者などの福祉医療制度に対して政府は、医療費の増加につながるとして、国庫負担金を削減するペナルティーを課している。

しかし、県が、無料化を拡充したことによる救急医療や時間外診療を検証したところ、減少し、医療費も減っていることが明らかになった。不当なペナルティーをやめさせ、その財源で高校卒業まで無料化を拡充させていただきたい。

答 村 長

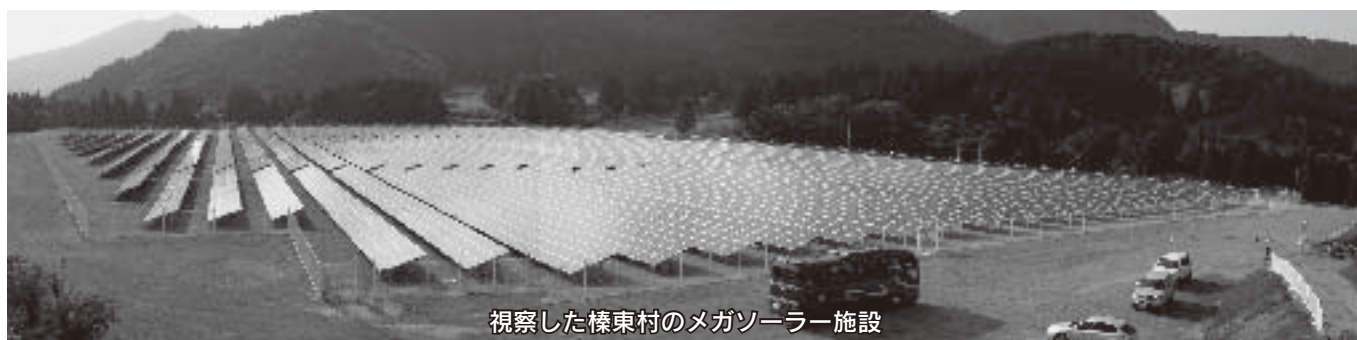
国庫負担金の削減額は、子ども分213万6千円、母子等39万8千円、身障者249万2千円で、合計502万6千円になります。ペナルティー廃止については、



榛東村の担当職員から説明を受ける

町村会としても強く国に要望していき、私もその決意で要望していききたいと思っています。

高卒まで拡充するのに単純な試算では675万円余かります。ペナルティー分500万円がなくなつた時には、検討していきたいと思っています。



視察した榛東村のメガソーラー施設

一般質問

横浜市、取手市、玉村町などとの交流について



兵藤 喜孝 議員

問

11月3日に行われた昭和村の元気さの象徴でもある、村内バレーボール大会も参加人数が減り活気は薄れてきて、将来に向けて不安感を強く感じたところである。

村の活性化を図るには、村だけの取り組みでは、難しくなってきたので、村外との交流事業を推進していくことがとても大切だと考える。

村と関係のある横浜市、取手市、玉村町などとこれからどのような交流事業を進めていきたいのか、村長の考えをお聞かせ願いたい。

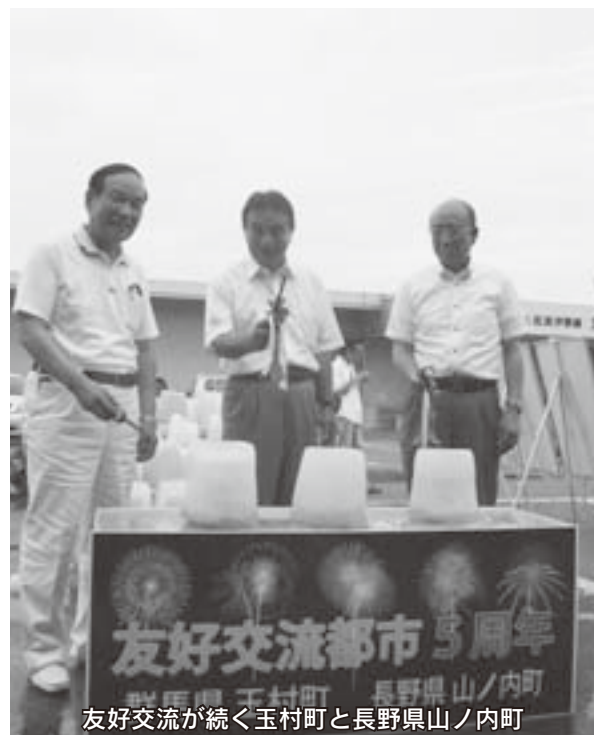
また窓口として、村づくり交流事業推進課を新設して対応してはどうか。

答 村 長

本村では婦人層体力づくりバレーボール大会から始まり、村内バレーボール大会として引き継がれ、今年度で45回目を迎え、村民に親しまれる大会です。しかしながら

ご指摘のように平成21年度の第42回大会から100チームを割り込み、92チームとなり今年度につきましては、88チームが参加し開催されました。そして交流について横浜市においては開港記念バザーや新横浜パフォーマンスに出店、また戸塚区民祭りに参加させていただき、横浜市からは、バスケットボールサマーキャンプやキッズキャンプを実施しており、村の小中学生と交流を図っています。取手市につきましてはウィンターフェスティバルやふるさと大使によるツアーなどで交流を図っています。玉村町につきましては、産業祭への出店など、玉村町からは親子で野菜など収穫体験や昭和の秋まつりへの出店や玉村町風の会の協力を得て風揚げ教室を開催しています。今後3市町とは、子どもからお年寄りまでバレーボール大会等各

種大会も含め、幅広い年代で交流ができるよう連絡調整を行っていきたく思います。



友好交流が続く玉村町と長野県山ノ内町



風揚げ教室

みなさんからの請願・陳情

自 平成24年8月28日 至 平成24年11月28日

受理 番号	受 理 年月日	件 名	請 願 ・ 陳 情 者	紹介議員 氏 名	付 託 委員会	審議 結果
33	H24. 8.28 (郵送)	昭和村における震災瓦礫処理についての陳情書	東京都杉並区 菅原 夏実		配布のみ	
34	H24. 8.29 (郵送)	「垂直離着陸機オスプレイ沖縄配備と飛行訓練の中止を求める意見書」採択に関する請願	群馬県平和運動センター 代表委員 猪上 輝雄 ほか6名		配布のみ	
35	H24. 8.29 (郵送)	「脱原発を求める意見書」採択に関する請願	群馬県平和運動センター 代表委員 猪上 輝雄 ほか6名		配布のみ	
36	H24. 9.19	請願書 上内出地内消火栓敷設替えのお願いについて	第七分団長 石井 芳人 上内出区長 本多 友次	角田 茂	総務 民生	採択
37	H24.10.25	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 石関 貞夫		総務 民生	趣旨 採択
38	H24.10.25	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 石関 貞夫		総務 民生	趣旨 採択
39	H24.11.13	請願書 村道川額伏田線道路改良工事のお願いについて	川額区長 藤井 一征	加藤美昭	文教 産建	採択
40	H24.11.26	請願書 村道宿1号線道路改良舗装工事のお願い	宿区長 川端 潔	角田 茂 加藤 生	文教 産建	採択
41	H24.11.27	陳情書 村道中野5号線の水利兼道路としての工事のお願い	中野上区長 菅原 健三 中野下区長 吉澤 博		文教 産建	採択
42	H24.11.28	陳情書 道路排水の流末処理のお願いについて	大堀区長 横坂 明 田岸区長 横坂 先夫 池原区長 小菅 和夫 滝久保区長 石井 幸夫		文教 産建	趣旨 採択

議会の動き

10月

- 15日 ●定例議長会
広域圏定例議員協議会
- 17日 ●湯沢町厚生福祉常任委員会行政視察来村
- 18日 ●横浜市表敬訪問
尾瀬高等学校創立50周年記念式典
- 24日 ●群馬県町村議会議員研修会
- 26日 ●議会全員協議会
利根沼田農業協同組合合併20周年記念祝賀会

11月

- 1日 ●岐阜県富加町議会行政視察来村
議会基本条例策定特別委員会
- 3日 ●村内バレーボール大会
農産物等盗難防止パトロール隊出発式
- 6日 ●秋の道路愛護巡視

- 8～29日 ●農産物等盗難防止パトロール(4日間)
- 9～10日 ●玉村町議会との交流会
- 11日 ●やさい王国「昭和村ふるさと大使」委嘱状交付式及び懇談会
- 12日 ●定例議長会
広域圏定例議員協議会
利根沼田学校組合議会議員協議会
- 13日 ●中学生議会
- 14日 ●町村議会議長全国大会
- 20日 ●議会運営委員会
- 22日 ●群馬県知事との懇談会
- 27日 ●群馬県町村議会議長会議会広報研修会
- 28日 ●利根沼田学校組合議会定例会
広域組合議会定例会
- 30日 ●議会全員協議会

12月

- 3日 ●議会運営委員会

- 11日 ●第5回議会定例会
本会議(初日)
- 12日 ●総務民生常任委員会
- 13日 ●文教産建常任委員会
- 18日 ●議会運営委員会
議会全員協議会
- 19日 ●本会議(最終日)
- 20日 ●議会広報編集特別委員会
- 26日 ●議会広報編集特別委員会
農業振興地域整備促進協議会(後期)

1月

- 8日 ●群馬県議会新春交流会
上毛新聞社新年交歓会
- 12日 ●消防団出初式
- 13日 ●成人式
- 14日 ●賀詞交換会
- 15日 ●広域圏定例議員協議会
定例議長会
新年懇談会

1組



太田 樹 いづみ

議場に入ると、外と空気が違うように、重圧感があるように感じました。



た。議会はそれほど重要なものであつて、そこで村に関することが生まれにくいんだということが、だまっていたも伝わってくるように感じました。答弁の時、自分は「あぐりーむ昭和」のことについて質問をしました。そこで、子供が楽しめる遊具の設置やB級グルメのことについて質問したのですが、本当の議会の時も、このような感じで質問、提案しているのかなと思いました。このように議会を通して、村を変える新たな案が出されているのと同様に、改めて話し合いで決定することの良さも感じました。

林 悠平 ゆうへい



テレビで行われているニュースや裁判などで討論しているのを見て、いつか自分もあの場所に立つてみたいと思ひ、この機会をもって村長と討論できたことに大変うれしく思ひました。1番議員ということで、一番最初に村長との討論が

でき、緊張している部分も多々ありました。私たちが思っていることがすぐに現実となって表れるのでなく、経済や土地といった深いところから考えなければいけなく、私たちが考えていたことよりも深刻で大変なことでした。そして私たちが考えていた意見をもう実行していたところもあり、私達の情報不足でもありました。これからの昭和村をよりよくするため、役場の人たちや村民全体で協力していければ、今後の昭和村が良いものになると思ひました。

林 亜美 あみ



先日は私達三年生のために、お忙しいなか時間をつくってもらひありが

がとうございました。議会は初めてのことで、とても緊張しました。中学生の意見なので、何かとわからないこともとても多かったと思ひます。私たちの意見に対して細かく、そして私たちに分かりやすいように説明していただきありがとうございました。将来は私達が昭和村を支えていくわけですが、今回の議会での経験をよく生かして、昭和村をよりよい方向へ持つて行けるようにしたい

と思ひました。ウィンターフェスティバルに對しましては、今の私達でも実行委員会に参加してもよいということだったので、機会があればぜひ参加したいと思ひました。私達の調べがまだまだ甘くて、提案してもそのことが実行できるかどうかかわりませんが、もし実行されるのであればうれし

倉澤 遼 りょう



先日は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。私はテ

レビや授業などで議場の写真などはみていましたが、本当に中に入つたのは初めてでした。私達のどんな質問や提案にもわかりやすく丁寧に答えていただいて、疑問に思つていたことがすべてわかりました。私達が提案したことでもう実際やつていたことや実現できないことはありますが、少しでも実現できそうな提案があれば私達の意見が参考になり、よりよい昭和村になればとても嬉しいです。これから私達が大人になったときは、今よりすばらしい昭和村にしていきたいと思ひます。

2組



梅沢 美咲



初めての経験でとてもわくわくしましたが、やはり議会の空気は味

わったことのない感じがして、その部屋の中には独特の雰囲気があり、背すじがピシッとひびる感じがしました。それは、とても良い経験になったと思います。村長さんや教育長さんには、こちらの質問や提案にいてねいに答えていただき本当にありがたいと思いました。このような議会を開いたことで昭和村のことをより詳しく知ることができ、私達の提案で昭和村がより活性化していったら良いと思います。村長さんをはじめとした、たくさんの方が昭和村を活性化しようと考えてくれたのを見ると、私達ももっと活性化につながるようなことをしなければと思いました。

萩原 生成



初めての体験でとても緊張しました。議会が始まる前は「自分の読ん

でいる文がきちんと相手に伝わるだろうか」「難しい質問をされないだろうか」と心配したりしました

が、そんなことはなく、私の提案

に対し私達でもわかるように説明してもらえたので、安心して議会をすることができました。他の班の話を聞いていても、その施設の現状、これからどうなっていくのかを知ることができました。議会をするには提案・質問する側もそれを聞く人も、前から準備をしておかないといけないので大変だと思つたし、村にかかわることなので慎重にやらないといけないということを学ぶことができました。普通の人では体験することのできないことができたので、とても勉強になりました。

金井 瑞希



中学生議会はとても緊張感があり、手に汗をかいてしまいました。

厳肅な雰囲気の中で私達の質問・提案に対して、しっかりと調べていただいた回答が返ってくることにどこか喜びを感じました。私達の生活の土台となる決まり事は、十二人の議員さん達が村民のことを思つて話し合いをしていると考えるきっかけとなりました。提案を現実的に有効的につくるのは大変だと、自分達もやってみて思い

ました。中学生議会を体験することで、視野が広がったと思います。

兵藤 寛山



中学生議会を終えての感想は、とても緊張しました。自分たちの意見を

真剣に受けとめてくださり、本当に感謝しています。自分たちが提案したものは、様々な問題があり、実行することは難しいのだと思います。自分は「昭和の湯」の担当をしていたのですが、「メンズデイ」や「レディースデイ」を減らした理由や足湯について、またどのくらい利益が出ているのかなど返答を聞くと、どれも納得のいく答えばかりでした。

今、自分達の住んでいる昭和村にはたくさん良いところがあります。自然豊かな土地、暖かく見守ってくれている優しい人々、自分はこの昭和村が大好きです。この良さを維持するために、自分たちも一生懸命活動したいと思えます。お忙しい中、自分達の意見を真剣に聞いてくださり感謝しています。



綿貫 陽菜



各班で何時間かかけて練った提案を、村の村長や教育長などに自分達

の声で言葉で伝えることができたのは良かったです。現実的に実現が不可能なものもなかにはあるかもしれないけれど、話しを聞いて頂ける機会をもうけて頂いただけで感謝します。また、質問に、丁寧に答えて頂いたので、提案の際に生まれた疑問を解決、それをふまえて提案することができました。この学習を通して自分達が住む昭和村を改めて考える良い機会になりました。議会に関わった多くの皆さんに感謝します。本当にありがとうございました。

金子 里緒



自分が調べ発表したものを実行され昭和村の活性化につながれば、一

番だけでも自分達の住む村のために、みんなで話し合うことに意味があるのだと思いました。この努力が村の活性化にもつながり、より良い村へとなるのだと思います。なので、あまり分からず関心もない選挙は、村の未来もかかっ

で大切なことだと実感しました。

私達が充実した生活が送れるのも議会と議員さんのおかげだと思います。村民のために考えてくれている人達に感謝の気持ちも生まれました。私達が大人になってそれらを担う立場になった時、議会に出ないとしても、知らん顔はしていただけないと思いました。協力できる1人の村民でありたいです。

岡田 莉奈



中学生議会。普

段体験することのないことで、緊張と関心でいっぱい

でした。今まで6人で練り上げてきた案を実際に村長さんや議員さんに提案するのは、全て本気で考えて発言しました。それに対して答えてくださった村長さんや教育長さんは、実際にかかる費用などを具体的に例などをあげて分かりやすく答えてくださいました。ただ自分達が提案したことにかかる費用や負担を聞いて現在の状況では難しいのではないかとも思いました。少し浅はかだったかなとも思いました。今日まで調べたりまとめたりした時、思うように進まなかったり、資料が見つからなかったりと困難なこともありましたが、一人一人

石井 瑠華



中学生議会はどうな雰囲気なのか全然分からなかったのととても緊張

しました。

自分達の発言の後、村長さんや教育長さんが分かりやすくお話しをしてくれたので良かったです。なので、自分達の考えていた提案を実践するのは思っていた以上にお金がかかることにびっくりしました。このことから一つの議題を提案してから実践するまで、とても大変なんだろうなと思いました。今回の中学生議会で、村の議会の雰囲気や大変さを知ることができてよかったです。今、私たちにできることがなかったとしても、将来この中学生議会で学んだことを生かして、今のままの風景で人がたくさん集まって、住みよい昭和村づくりに協力できたらいいなと思います。中学生議会に参加できてよかったです。



今回は中学生議会について、昭和中学校の堤校長先生と三年学年主任の岡田先生に伺いました。

話し合うことの大切さを学ぶ



堤 義樹さん
(昭和中学校長)

昭和中学校では、3年生になると「中学生議会」に向けて準備をします。今年、事務局から与えられたテーマは「村の活性化」です。

クラスごとに、テーマのもとに質問を考えます。生徒は、村の行事や村の様子を振り返りながら、「なぜこうなっているのだろう」「もっとできないのだろうか」「こうやったらいいのにと」、今までの経験と学習を基に、疑問やアイデアを出し合い、質問を絞りこみます。質問は、生徒にとって身近な問題を中心に観光、

産業、福祉、文化、イベント等多義にわたりました。村長さんは、生徒からの質問に今までの経緯や現状、予算等を踏まえ正面から回答します。それは、さながら本会議のようです。

回答には、現状を示す厳しい数値や法律も出てきます。生徒は、村長さんの回答から疑問に思っていたことが理解できたり、実施していない理由等がわかってきます。と同時に、自分達の質問が前向きに受けとめてもらっていることに充実感を味わいます。

3年生は、「中学生議会」での学習をとおして昭和村の発展、活性化に向けて何かできないだろうか、本気になって考え、質問、回答という経験を経ることができました。これは、普段の学校生活の中では、また教科書では味わえない学習です。ここでの経験は、生

徒に改めて自分達が意見を出すこと、話し合うことの大切さを感じさせることになりました。「中学生議会」が多くの方々のご理解・ご協力のもとに実施できたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

中学生議会の取り組み



岡田 秀久さん
(三年学年主任)

中学生議会は、総合学習におけるキャリア教育のまとめの活動として、年間計画に位置付けられています。本校における総合学習は、1年生から3年生まで、系統的かつ計画的に見通しをもって行われています。

1年時には「昭和村を知

ろう」というテーマで、昭和村の施設や文化財などを調べ、自分達の住んでいる村をより詳しく知る学習や昭和村にある様々な職場を見学し、職業について知る「職場見学」という活動を行います。

2年時には「昭和村を体験しよう」というテーマで、1年時に調べた様々な職場の中から、自分が体験したい職場を選び、一週間、実際にその職場で勤労体験する「チャレンジウィーク」という活動を行います。

3年時には「昭和村に提案しよう」というテーマで、1・2年生の学習をもとに、学年旅行や修学旅行で学んだ他の地域と昭和村の比較という視点を加え、総合的に学んだことを提案や質問の形にまとめていきます。

このように、昭和村を知ることから始まり、実際に体験し、他の地域との比較を通して、昭和村のよさや課題を考えると、いったい三年間かけて積み上げてきた総

合学習の成果を発表する場が「中学生議会」なのです。

中学生議会は、本物の議会の場で行うことに価値があります。村長さんに自分の生の声を伝える体験は、大人でもめつたにできないことです。感受性豊かな中学生にとって、この体験は貴重なものになったことでしょう。それは、生徒の感想を見れば一目瞭然です。

お忙しい中、このような貴重な機会を与えてくださった昭和村議会に携わる全ての皆様に心から感謝しております。本当にありがとうございました。



中学生の質問に村長が答弁

地域でがんばる人

生越太鼓十年の歩み

林 雄一さん（生越）

生越太鼓は、皆さんの御支援と御協力により十年を迎えることができました。現在、会員数は十八人で、毎週木曜日、公民館で練習を行っています。

初めての演奏は、村で開催さ

れた県の植樹祭のときでした。その後、村の成人式や賀詞交歓会、昭和の秋まつり、ウィンターフェスティバル（花



力強い演奏

火大会）、利根沼田広域文化祭、森林フェスティバルなどにも出演させていたれています。このほかにも、老人ホームの慰問やサッカー大会、自転車・オートバイなどの大会など、毎年、多くのイベントに参加しています。

興味のある方は、力強い和太鼓の音が一つになったときの喜びと感動を私たちといっしょに味わいましょう。

最後に、村民の皆様へ感謝を申し上げますとともに、これからも和太鼓の演奏で村が一層元気で明るくなれますよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

冬の健康ちよつとレシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

材料(4人分)

ほうれんそう…1束、塩…少々、ごま油…小さじ1
調味料A【赤唐辛子…1本、ねぎ…1本、しょうゆ…大さじ2、酒…大さじ2、砂糖…小さじ2、すりごま(白)…小さじ1、ごま油…小さじ2】

作り方

- ①ほうれんそうは根元の汚れをよく洗い落とす。
- ②鍋にお湯を沸かし、塩とごま油を入れ、ほうれんそうの根元のほうから入れ、ゆでる。
- ③ゆで終わったら、水を入れたボウルにとり、流水で冷やす。水気をしぼって4～5cmの長さに切る。
- ④赤唐辛子、ねぎは小口切りにする。
- ⑤調味料Aと④を合わせ、ソースを作る。
- ⑥ほうれんそうのおひたしの上に⑤のソースをかけ、できあがり。

栄養価(1人分)

熱量…71kcal、たんぱく質…2.1g、脂質…3.8g、塩分…1.2g



ワンポイントアドバイス

- ・小松菜、チンゲンサイのおひたしでもおいしいです。
- ・辛いのが苦手の方や子どもが食べる場合は、唐辛子を抜き、その分すりごまを増やしてもおいしいと思います。

中華風おひたし

編集室から

12月定例会で委員会構成が変わり、新体制では初めての議会だよりの編集となりました。試行錯誤の末、議会だより66号が無事発行となり、万感の思いでいっぱいです。

「議会との接点は議会だより」という村民の方々がいる中で、皆様の信頼と期待に応えるべく、議会だよりの果たすべき役割を忘れずに、村民の皆様に親しまれ、読まれる紙面づくりに努めていきたいと思っています。

委員一同、一丸となって取り組んで参りますので、村民の皆様からも御意見や御感想をお寄せくださいますようお願いいたします。

加藤 美昭 記
議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 美昭
副委員長 兵藤 喜孝
委員

倉澤 俊雄 角田 茂
加藤 生 星野 吉一
山田 博昌 高橋 昇三
藤井 富夫